

機能一覧

		接続方式		
		Proxy / VPN接続	ISGC assist iOS	ISGC assist Android
Webフィルタリングサービス		○	○	○
管理機能	ログ分析 (InterSafe LogNavigator連携)	○	○	○
	インシデントアラートメール	○	○	○
	Geoスコープ (国別のアクセス状況把握と対策)	○	—	—
有償オプション	導入支援サービス	○	○	○
	ログ長期保管サービス	○	○	○
	ダッシュボード	○	○	○
	アクセス制限オプション	○	—	—
	帯域拡張オプション	○	—	—
	VPN構成オプション	○	—	—

動作環境

ISGC Agent アプリ 対応OS

Windows	Microsoft Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education ※各OSの日本語版のみ対応 ※全てのOSで32bitと64bitに対応 Microsoft Windows 11 Home / Pro / Enterprise / Education ※各OSの日本語版のみ対応
ChromeOS	OSバージョンは問いません

ISGC assist アプリ 対応OS

iOS	iOS 17.x、18.x / iPadOS 17.x、18.x
Android	Android 13.x、14.x、15.x

クライアントブラウザ環境

Webフィルタリング対象ブラウザ	Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、 Safari on iOS iPhone / iPad、Chromeブラウザ ※Windowsでは、対応ブラウザのサーバーOS上での動作はサポート対象外です
管理画面操作ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge (Chromium版)

InterSafe LogNavigator Ver. 1.0 対応OS

Windows	Microsoft Windows 10 Pro / Enterprise / Pro Education / Education Microsoft Windows 11 Pro / Enterprise / Pro Education / Education / Pro for Workstations ※各OS日本語版64bitのみ対応
CPU	OSの動作要件を満たすこと
メモリ	4GB以上 (8GB以上推奨)
HDD	100GB以上の空き領域 (ログを除く) ※SSD推奨
ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge (Chromium版)

※注意事項

- ISGC Agent 及び ISGC assistライセンスでは「Geoスコープ」「規制解除申請設定」が利用できません。
- iOS 18.0 / 18.1はサポート対象外です。

管理画面操作

Webブラウザ	Microsoft Edge (Chromium版)、Google Chrome
---------	--

ライセンス料金 (1デバイスあたり、税別)

ライセンス料金	月額	年額
Webフィルタリングサービス Proxy / assist Proxy※1	600円	7,200円
Webフィルタリングサービス Agent / assist※2	300円	3,600円
Webフィルタリングサービス GIGAスクールライセンス※3	オープン価格	オープン価格

※ご利用端末1台につき1ライセンスが必要です。

※利用する端末のOSがWindows、iOS、Androidの場合には、端末数に応じたライセンス数が必要です。

※利用する端末のOSがChromeの場合には、ご契約のGoogle Workspaceのアカウント数に応じたライセンス数が必要です。

※1 最低購入ライセンス数は100となります。500ユーザー以上は別途お見積りとなります。

※2 最低購入ライセンス数は5となります。

※3 最低購入ライセンス数は5となります。特別価格の詳細については、別途お問い合わせください。

製品に関するお問い合わせは各営業所までお願いいたします。

アルプス システム インテグレーション株式会社

本 社 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7
TEL : 03-5499-8045 FAX : 03-5499-0357

東京営業所・古川営業所・仙台営業所・いわき営業所・白台台オフィス・
横浜オフィス・名古屋営業所・大阪営業所・広島営業所・福岡営業所



<https://www.alsi.co.jp/> E-mail : ssg@alsi.co.jp

※ALSI(アルシー)はアルプス システム インテグレーション株式会社のコミュニケーションブランドです

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付けください



25.08.ISGC



もっと豊かな情報未来へ
アルシー・ソリューション

クラウド型 次世代Webフィルタリングサービス

InterSafe GatewayConnection

「インターセーフ ゲートウェイコネクション」



<https://www.alsi.co.jp/>



ビジネスの現場も、教育の現場も。

高品質なゼロトラストへの対応力で、クラウド時代の 安全を守ります。

業界団体が
認める
確かな品質

※P.9参照

顧客評価で
4つのNo.1を
獲得！

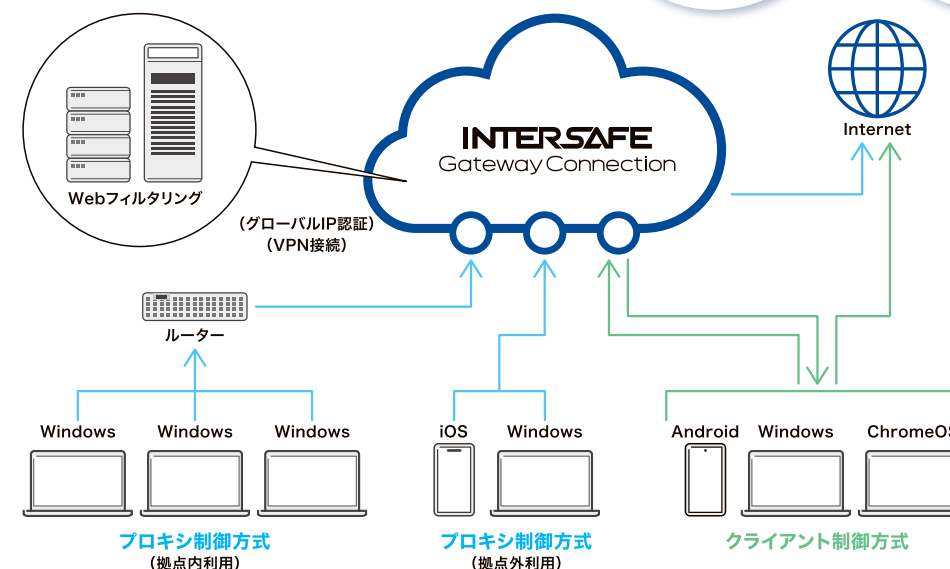
※P.9参照

Android
対応



IT環境のクラウドシフトが進むいま、「内」と「外」の区別はなくなり、セキュリティも従来のアプローチでは対応が困難になっています。そこで注目されているのが、人や場所に関わらず守るべき情報へのアクセスはすべて信用せず(ゼロトラスト)安全性を検証、脅威を防ぐセキュリティです。マーケットシェアNo.1※のWebフィルタリング「InterSafe GatewayConnection」は、Windows、Chrome OS、iOS、Androidのあらゆる場所からのアクセスコントロールを実現します。

※出典：IDC Japan、2023年「国内情報セキュリティ製品市場シェア、2022年：セキュリティプラットフォームの進展」(PJ49213223)



大手携帯キャリア
3社に採用

NTT
docomo

au

SoftBank



圧倒的なフィルタリング精度でサイバー攻撃に備える

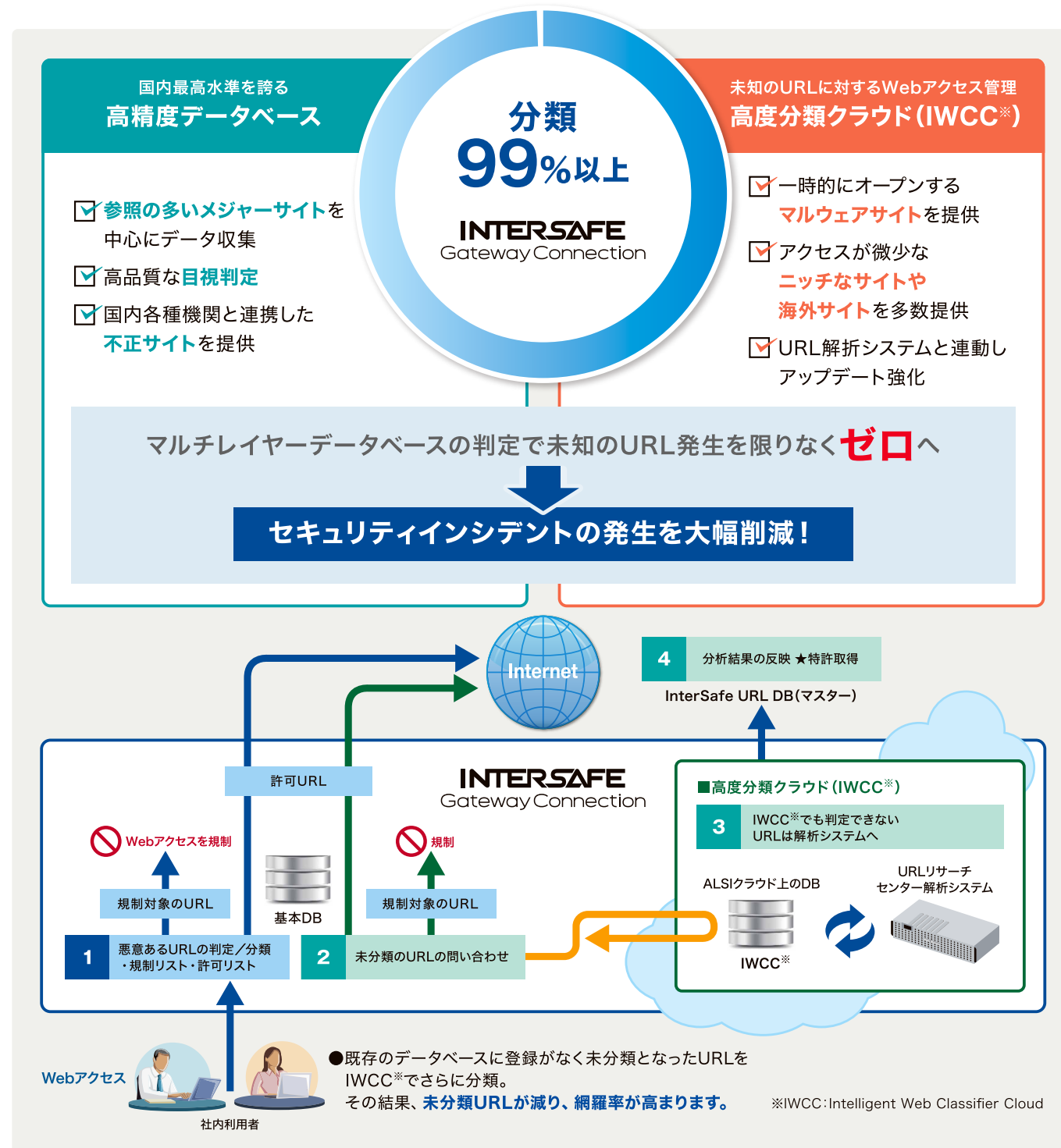
対応1 不確かなサイトを排除する

国内最高水準、網羅率99%以上の高精度URLデータベースと高度分類クラウドのダブルエンジンで未知のURLを即時判別します。

業界最大級150カテゴリ*のURL分類でフィルタリングの制御が簡単に設定可能。さらに未分類のURLをクラウドで判定し「既知」化、未知のURL発生率を限りなくゼロにすることで、セキュリティインシデントの発生を大幅に削減します。万が一

マルウェアなどに感染しPCを乗っ取られても、悪意のあるサイトへのアクセスを制限できるため、機密データのアップロードを未然に防ぎ、情報漏洩をシャットアウトできます。

※2025年5月下旬対応予定（「オンラインカジノ」のカテゴリ追加）

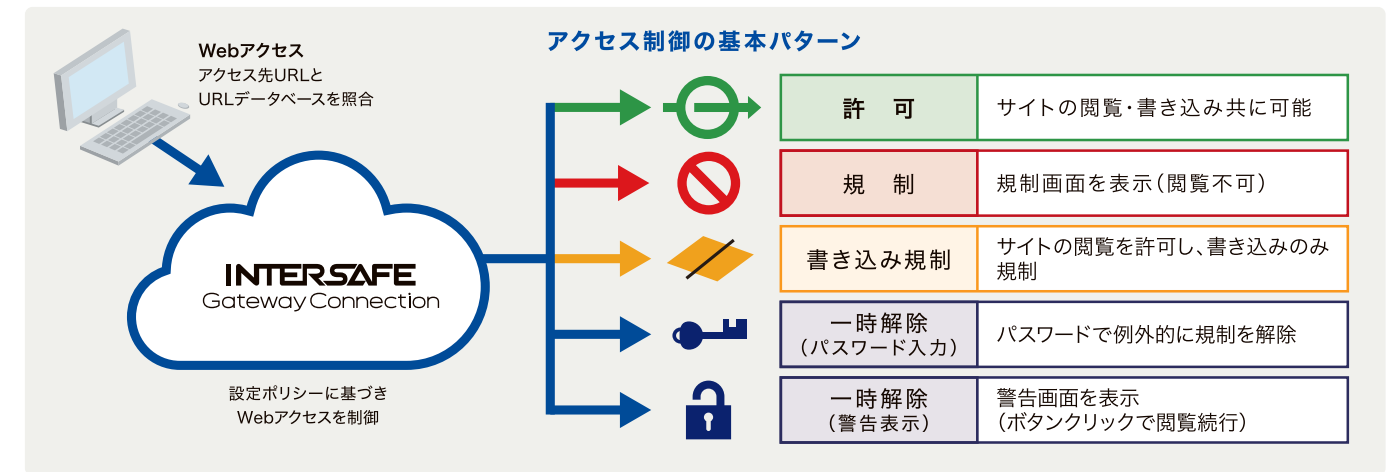


対応2 ポリシーに合わせてアクセスを制御

業務に必要なサイトへのアクセスは許可し、悪意ある危険なサイトへのアクセスのみをブロックします。

組織のポリシーや、アクセスしようとするサイトの内容にあわせて柔軟にWebアクセスの規制方法が設定可能。インターネットの柔軟な活用により、業務効率を向上させるようWeb

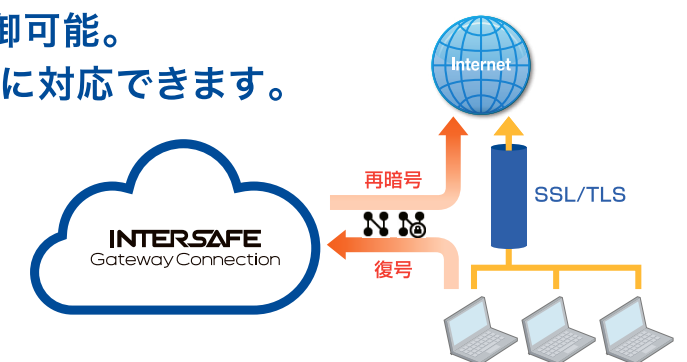
アクセスをコントロールしながら、悪意ある危険なサイトへのアクセスをブロックし、Webからの脅威の防御を実現します。



対応3 HTTPS通信にも対応

常時HTTPS化サイトへのアクセスも制御可能。暗号化通信を隠れ蓑にするサイバー攻撃に対応できます。

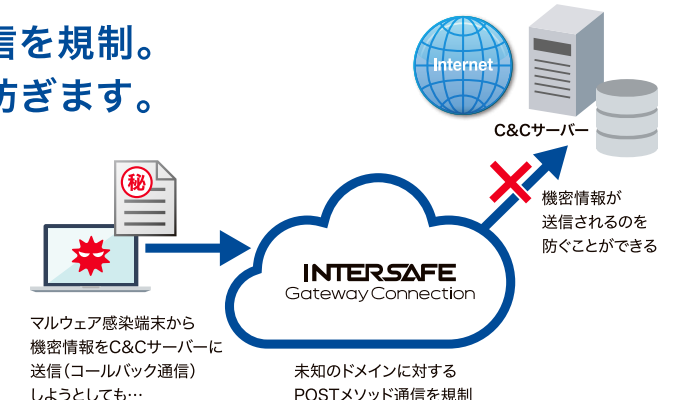
より安全なWeb利用を実現する常時HTTPS化が進む一方で、その「秘匿性」を悪用、暗号化通信を隠れ蓑にセキュリティ製品による検知を逃れるサイバー攻撃にも注意が必要です。InterSafe GatewayConnectionは、常時HTTPS化に標準対応。従来のHTTPサイトと同様にWebフィルタリングやログ管理が可能です。



その他の機能

未知のドメインへのPOSTメソッドの返信を規制。コールバック返信を制限し、情報漏洩を防ぎます。

C&Cサーバーへのコールバック通信をブロックすることはサイバー攻撃への有効な対策です。未知のドメインに対するPOSTメソッドの通信を規制することで、マルウェアが内部の情報を外部に送信しようとした時のコールバック通信を規制。万が一マルウェアに感染しても通信をブロックできるので、情報漏洩のリスクを低減します。



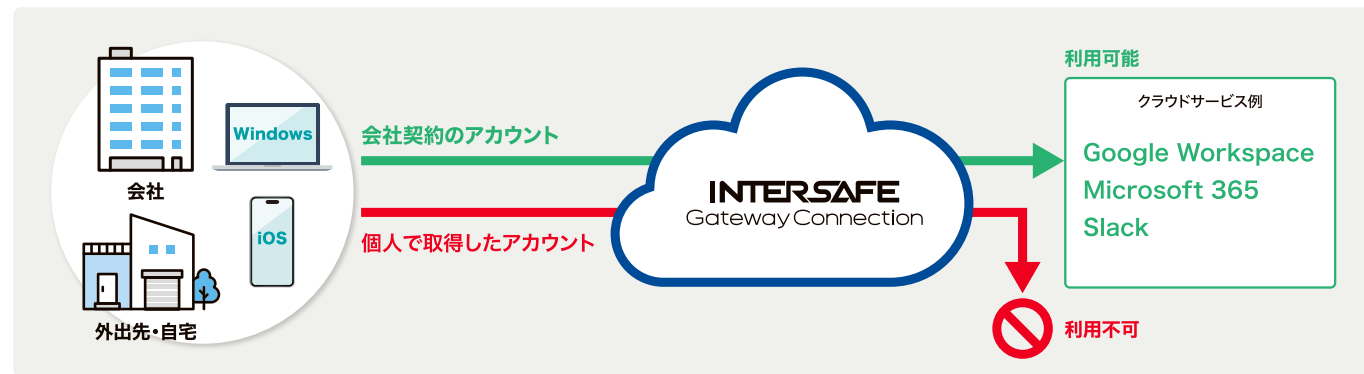
アクセスの制御・可視化で内部不正を監視

対応1 シャドーIT利用を制御

会社契約のアカウントは利用許可しつつ、個人契約のアカウントの利用を制御します。

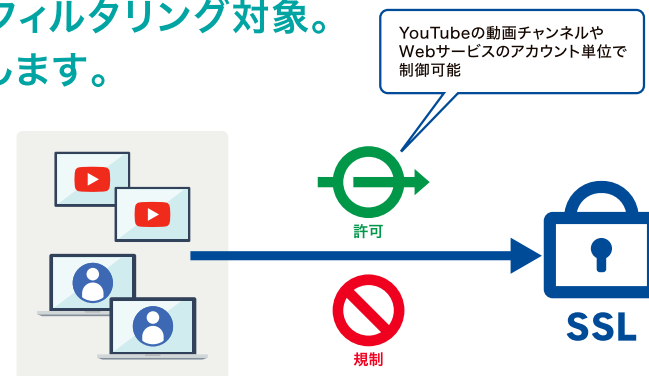
クラウドサービスは多様化する働き方に欠かせない存在ながら、同時に、管理者の目の届かないところで社員が許可されていないクラウドサービスを利用する危険もはらんでいます。いわゆる「シャドーIT」問題で、無許可のストレージサイトへの機密情報アップロードによる情報漏洩リスクや、意図しないマルウェアダウンロードにより社内に被害が広がるといった重大リスク

につながります。InterSafe GatewayConnectionではGoogle Workspaceをはじめとする各クラウドサービスにおいて、会社契約のアカウントは利用許可しつつ、個人契約のアカウントを利用禁止にするなどアカウント制御が可能。シャドーIT対策として活用できます。



HTTPS通信やアプリ内ブラウザもWebフィルタリング対象。通信の抜け道を経由した不正利用を防止します。

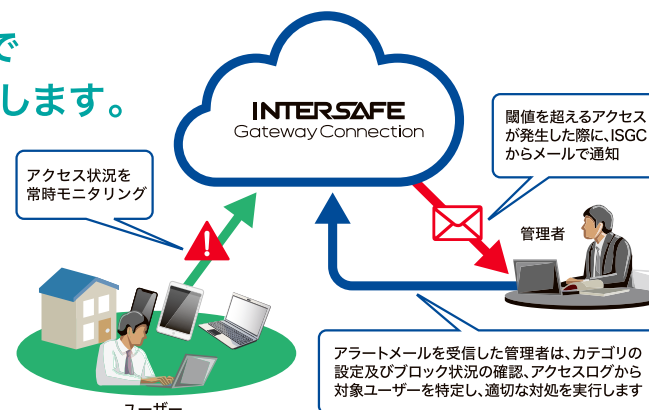
業務での活用も一般化しているYouTubeの視聴をチャンネル単位で制御可能。業務に必要なチャンネルのみ視聴許可することで、私的利用を抑止します。また、マルチブラウザに対応しているため、SNSやメール等のアプリ内ブラウザを経由してアクセスするWebサイトもWebフィルタリングの対象となります。通信の抜け道を利用した情報漏洩やWebサイトの私的閲覧を防止します。



対応2 アクセス状況を常時モニタリング

常時モニタリングとインシデントアラートで異常なアクセスを検知、不正を未然に防止します。

管理者が予め設定した閾値(時間あたりの特定カテゴリに関するアクセスの上限数)に基づいて、アクセスを常時モニタリング。閾値を超えるアクセスが発生した際に、管理者へアラートメールを発信します。また、管理者が予め設定した特定のキーワードを含む検索や書き込みに対してもアラートメールを発信。管理者はアラートメールの内容を確認し、適切な対応を実行します。



対応3 AI利用のリスクを管理

ログ分析やアラート通知で生成AIの活用を管理。

近年利用が進む生成AIは機密情報や個人情報の漏洩リスクがあり、生成された内容に誤りがある可能性などから、ビジネスや教育現場での悪影響も懸念されています。InterSafe GatewayConnectionでは、許可した生成AI以外の利用をブロックすることが可能。専用ログ分析ツール「InterSafe LogNavigator」を使うことでアクセス分析も行えます。さらにスケジュール機能を活用すればグループまたは個人ごとにアクセス制御を行うことができます。

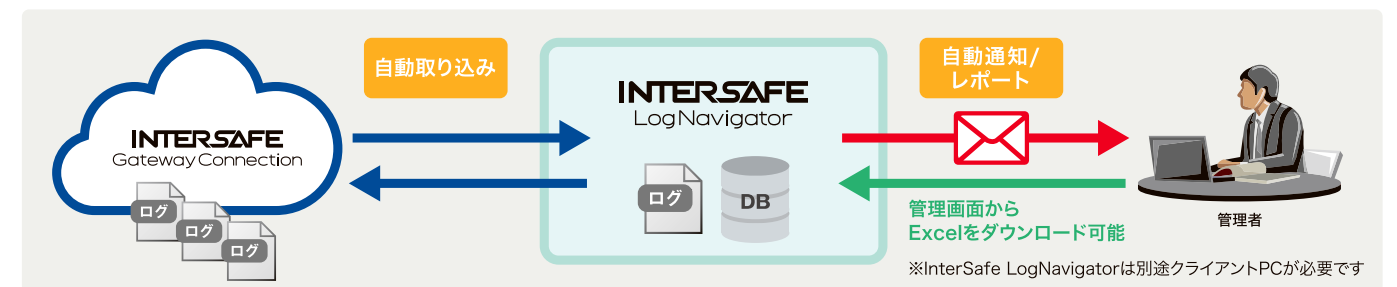
	月曜日～金曜日			土曜日・日曜日
	0:00	8:30	19:00	24:00
営業部	業務時間外はNG	業務時間中はOK	業務時間外はNG	
総務部	業務上利用ケースがないためNG			
営業部	休日はNG			
総務部				

対応4 Webページへのアクセスログを把握・分析・監視

無償の専用ログ分析ツール「InterSafe LogNavigator」でWebアクセスを可視化、セキュリティを強化します。

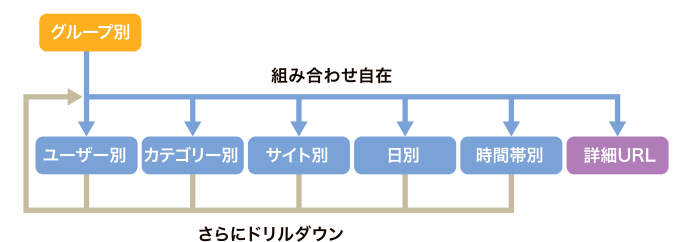
リモートワークの普及は、非対面のため監視が行き届かず内部不正を誘引するリスクがあります。InterSafe Gateway Connectionでは、高精度フィルタリングによりSNSやオンラインストレージなどへのアクセス禁止、投稿やアップロードを制限することで故意や過失による情報漏洩を防ぐ対策としても

大きな効果を実現していますが、さらに無償の専用ログ分析ツール「InterSafe LogNavigator」を活用することで、社内の膨大なWebアクセスログを把握・分析・監視。不適切な書き込みや機密情報の漏洩、業務中の私的利用など、社員の不正なWeb利用を可視化でき、組織の情報セキュリティ強化が図れます。



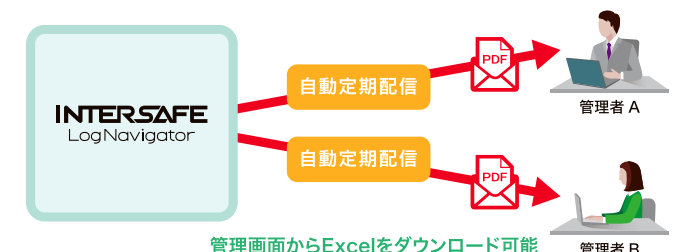
ドリルダウンレポートでアクセスログを多様な切り口で可視化・分析。

ドリルダウンレポート機能により、「いつ、どこに、誰が、何件アクセスしたか」を確認し、アクセス傾向を分析。また、カテゴリ別や時間帯別など、さまざまな切り口からレポートを作成できます。



アクセスログの集計・レポート作成を自動化して管理者の業務負担を軽減。

毎日/毎月自動で集計レポートを定期配信。報告のためのレポートを手動でエクスポートする手間をなくし、業務負担低減につながることができます。



for GIGA School——実績と信頼をこどもの未来のために

対応1 端末の利用状況を簡単に可視化

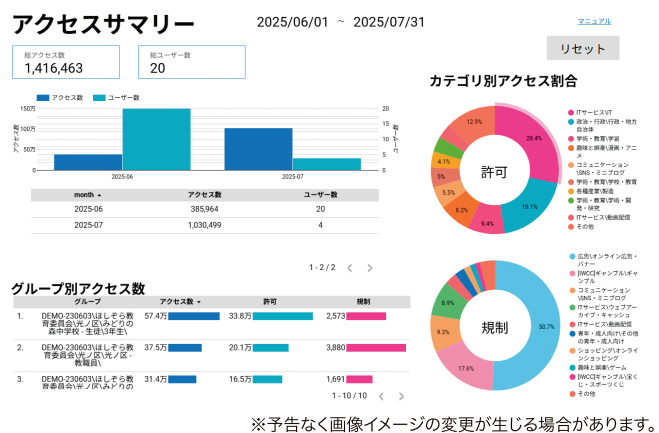
「ダッシュボードサービス」オプションで、すぐにログを可視化。
利用状況の可視化が求められる「GIGAスクール構想」第2期に対応します。

全国の児童・生徒一人に一台のPCと高速ネットワークを整備することを目的に2019年に開始された「GIGAスクール構想」は、当初の目標がほぼ完了し第2期がスタートしました。第2期の目標は、利用状況の可視化。文部科学省の「教育DXに係るKPIの方向性」には端末利用状況の可視化が求められており、

グループ別/ユーザ別アクセスグラフの活用で、きめ細かな生徒指導が行えます。

児童・生徒一人ひとりのアクセスログを取得、放課後や深夜帯など時間帯を指定して利用状況をレポートとして可視化することが可能。どの児童・生徒がいつどのようなサイトにアクセスしたかが一目で確認できます。また、検索時に書き込んだキーワードを集計し、キーワード別アクセスグラフとして表示可能。児童・生徒がいまどのようなことに注目しているかが把握でき、一人ひとりのライフスタイルや興味・関心に寄り添ったきめ細かい指導、施策検討に活用できます。

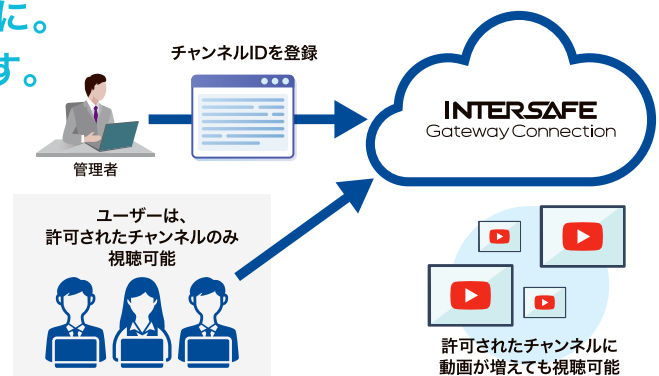
GIGA端末の調達ガイドラインではWebフィルタリング機能を備えることが補助要件となっています。「ダッシュボードサービス」オプションは、学校全体の端末稼働状況を一目で把握可能。導入設定はALSIが行うので、面倒な初期設定も無く、すぐにログの可視化が実現できます。



対応2 YouTubeチャンネル単位制御

YouTubeの特定チャンネルのみ視聴可能に。
チャンネルIDを登録するだけで運用できます。

学習コンテンツなども豊富なYouTubeは、同時に大きなリスクも含んでおり、いかに柔軟に制御するかが大きな課題です。InterSafe GatewayConnectionでは、制御したいYouTubeのチャンネルIDを登録するだけで登録されている動画の視聴許可/不許可を簡単に設定可能。チャンネルに新しい動画が追加されるたびに閲覧/制御の設定が自動反映されるため、管理者の運用負担を軽減できます。



対応3 曜日/時間帯に合わせてアクセスをコントロール

授業のある日/ない日、授業中/放課後など
曜日や時間帯別にフィルタリングルールを設定できます。

曜日や時間帯ごとにルールが設定できるスケジュール機能を搭載。さらに授業がある曜日は、登下校や在宅の時間と授業中の時間でフィルタリングルールを変更することもできます。またクラスごとに細かな設定も可能で、学校の運用に合わせた柔軟なルール設定を支援します。

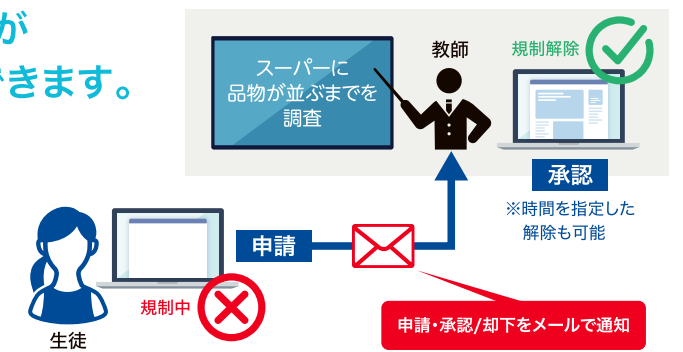
授業がない休日には、特定の学習コンテンツのみ使わせるようなアクセス制限をかけて、学習用途以外での利用を低減する運用も可能です。

時間	月	火	水	木	金	土	日
00:00 - 09:00	×	×	×	×	×	×	×
09:00 - 17:00	○	○	○	○	○	特定サイトのみ	特定サイトのみ
17:00 - 00:00	×	×	×	×	×	×	×

対応4 授業中の一時的なアクセス許可

授業で利用するWebサイトを担任の先生が
時間を指定して一時的に解除することができます。

授業中の調べ学習をしているときに閲覧したいサイトが規制対象の場合、各グループ管理者を担任の先生に設定しておくことで、規制解除を管理者に連絡することなく担任の先生がその場で規制解除することが可能です。URL単位だけでなく、ドメイン単位やキーワードでの規制解除もできるので、運用にかかる手間を削減することができます。

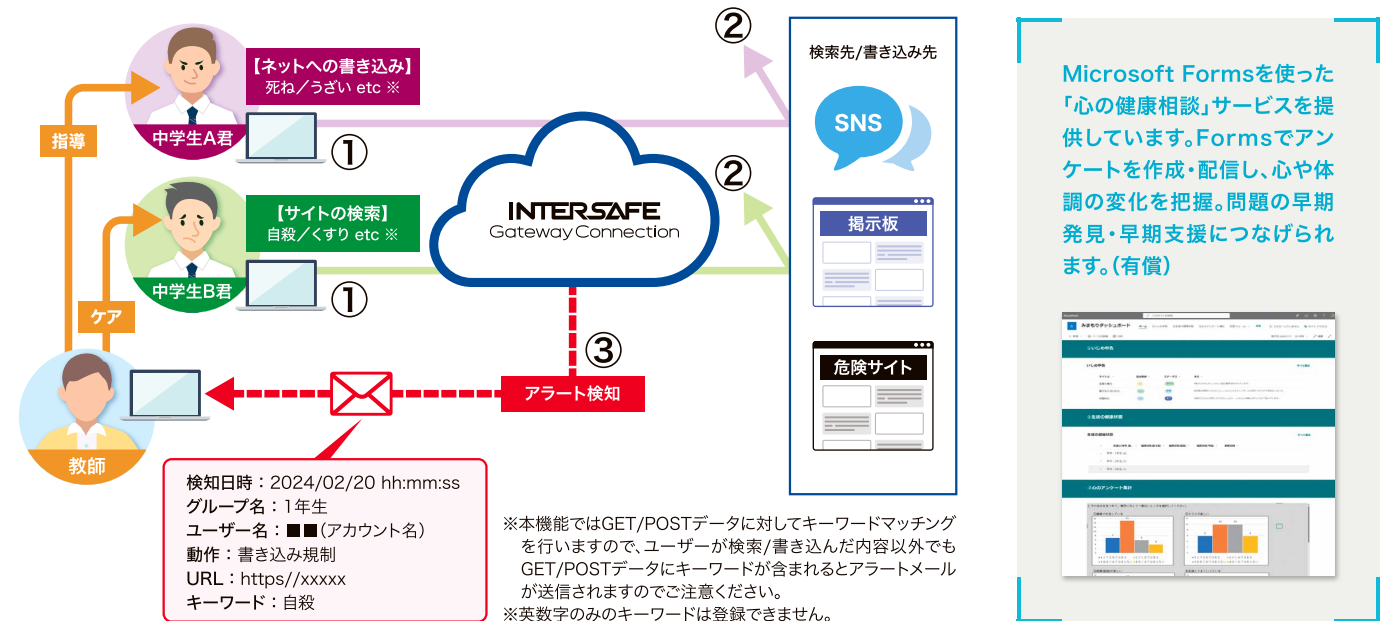


対応5 ネットいじめを防止

事前に登録したキーワードによる書き込みや検索を検知したら
アラートメールで通知。ネットいじめの防止を支援します。

事前に登録したキーワードによるインターネット上での書き込みや検索、不適切なWebサイトへのアクセスを検知した際に、管理者にアラートをメールで通知します。規制されたキーワード

は管理画面で確認し、入力したキーワード全文をダウンロードすることも可能。ネットいじめの防止対策を支援します。



DNSフィルタリングでは実現できない
精度と柔軟性のあるフィルタリングができます。

DNSフィルタリングはドメイン配下全てのページへのアクセスを一律で制限するフィルタリングサービスであるのに対し、WebフィルタリングはURL単位で制御するフィルタリングサービス。DNSフィルタリングの一律制限では対応できない「学習に有益な動画チャンネルのみ視聴を許可する」といった、ニーズに合わせたきめ細かい設定が可能です。「対応2」「対応3」で紹介したYouTubeチャンネル単位での制御やスケジュール機能はURLフィルタリングだからできる機能です。



数々のNo.1が品質と信頼の証です

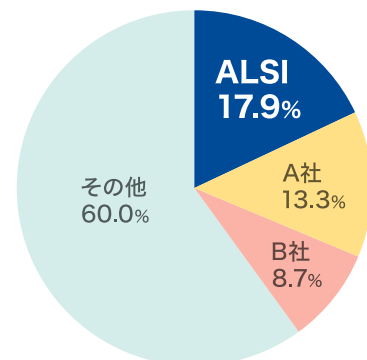
シェアNo.1※の導入実績とお客様の声、数々のアワードでの評価がInterSafe GatewayConnectionの信頼です。

Webフィルタリングソフトの評価基準は何よりもその精度ですが、さらにユーザー（社員や児童・生徒）の使いやすさ、管理のしやすさなどが重要になります。InterSafe

GatewayConnectionの信頼性は、導入実績や数々のアワードでの高い評価が証明しています。

マーケットシェアNo.1※の実績

InterSafe GatewayConnectionが採用しているフィルタリング技術は、マーケットシェアNo.1※。企業や官公庁、教育機関など、全国で豊富な実績があります。



※出典：IDC Japan、2023年「国内情報セキュリティ製品市場シェア、2022年：セキュリティプラットフォームの進展」(PJ49213223)

「ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度」に認定

「ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定制度」の認定は、サービスの安全性、信頼性に関する情報を正しく開示しているサービスにのみ与えられるもので、利用者の安心・安全なクラウドサービスの選定に役立てることを目的としたものです。



0258-2111

4つのNo.1、信頼の品質とサポート

ITReviewに投稿されたレビューをもとに発行されるカテゴリーレポートにおいて、「満足度」「機能への満足度」「サポート品質」「価格への満足度」の4項目においてNo.1を獲得しました。(2023年春発行)



セキュリティサービスを提供する企業として、多くの外部認証を取得しています。

情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)



IS 806598 / ISO27001

ISMSクラウドセキュリティ



IS 806598 / CLOUD 806606

プライバシーマーク



21004762

当社は、デジタルソリューション及びセキュリティソリューションの事業における業務範囲に関して、本社、白金台オフィス、横浜オフィスのプロダクト&ソリューション事業部、白金台オフィスのインタープレイ事業推進グループ、古川事業所のITプラットフォーム2課において情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格であるISO/IEC 27001:2022を取得しております。

当社の提供する次世代Webフィルタリング「InterSafe GatewayConnection」の提供について、当社白金台オフィス及び横浜オフィスでは、ISMSクラウドセキュリティの国際規格であるISO/IEC 27017:2015を取得しております。

当社は、個人情報の適切な取り扱いを行う事業者に付与される「プライバシーマーク」の認証を、一般財団法人日本データ通信協会 (JIPDEC) より取得しております。

安心へのこだわり・充実したサポート体制 ALSIの導入支援サービスは、 お客様に安心と信頼をお届けします。

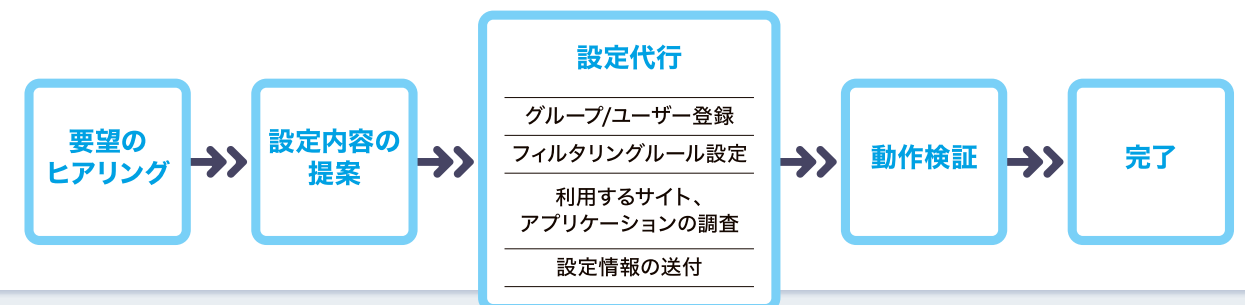
専任スタッフによる無償の導入支援サービス

InterSafe GatewayConnectionでは、初期設定をご支援する導入支援サービスを提供。お客様の環境についてのヒアリングからお客様が利用するサイト、アプリケーションの調査/動作検証、InterSafe GatewayConnection管理画面の設定代行まで、**すべて無償で手厚くサポート**します。

サポートは専任の“ALSI技術者”が担当。

豊富な実績で培ったノウハウでお応えします。

※対象：100ライセンス以上で契約のお客様／支援方法：メール・電話 ※MDMなどの設定作業は含まれません



お客さまの声 InterSafe GatewayConnectionの良いポイント



【学校・教育関係者】★★★★★

- ・コンテンツごとにブロックしてくれるので細かく設定する必要がありません。
- ・アクセス履歴をトラブル発生時に確認でき、何をしようとしたかをだいたい掴むことができる。
- ・数日間遡って確認できるため、何をしていたかがわかる。
- ・コンテンツのブロックが優秀。



【販売会社】★★★★★

- ・マルチOS対応・分かりやすい操作画面。
 - ・サポートが充実しているように思います。
- その理由
- ・従来使っているInterSafe WebFilterと同じ操作感で利用できる。
 - ・サポート窓口にお問い合わせをしますが、大きく待たされることは一度もありませんでした。



【学校・教育関係者】★★★★★

- ICT担当でなくても設定が使い易いようにできていると思います。サイト全体やページごとでも指定できるので、たいへん重宝しています。
- 個人的には、IPアドレス指定で規制できるのがうれしいのと、子どもたちのグループも自由に設定できることが助かります。



【民間企業】★★★★★

- この製品の良い点は深い知識が無くても見やすいUIである点と複数拠点でのネットワーク利用の管理がしやすい点です。